

幼少期に視力改善へ 清水メガネが新サービス

株式会社清水メガネ
(清水学社長、本社柏2)
が、小児の弱視などの視

力矯正を推進する定額制のキッズサポートプランを4月1日から導入した。小学6年生までを対象とし、眼科医の処方箋をもとに作成する眼鏡を使い、弱視や斜視、遠視からの視力改善を図る。入会金2160円と月額1620円(いずれも税込)で、様々なサービスが受けられる。

清水社長の姉である「しみず眼科」の清水恵院長と連携し、視力矯正に取り組み。清水院長によると、子どもの視力は12歳まで矯正(成長)が可能。「身体と同様に眼球にも成長期がある」と清水院長。弱視などがみつかると視力矯正を断念する傾向があるとし、「眼科専門医の処方に従った眼鏡で矯正すれば、成長を促せる」と話す。12歳以降の視力の成長は難しいとされ、「幼少期のうち」に清水社長は呼びかける。

視力は成長する
一般的に視力矯正に消極的な理由のひとつに、眼鏡の費用が挙げられる。レンズが1組1万5千円程度かかり、フレーム込みとなると3万円を超えることもある。幼少期は壊す心配もあり、安価なサービスを求めがちだ。ただ、「処方に沿い、専門店の有資格者による指導が視力回復には欠かせない(清水社長)ため、キッズサポートで費用面のハードルを下げ、専門性の高い矯正を実現させた。費用面をみると、新規交換レンズとパーツ交換・修理が無料(原則無制

限)となるほか、日本製フレームが2割オフ。小児の弱視などの場合、眼科医の処方があれば国の助成も受けられる。かかりつけ医がいなければ、しみず眼科で処方も可能。専門性は、60年の歴史を持つ清水メガネの知見を活かす。清水社長自身が国家資格である視能訓練士であり、公益社団法人日本眼鏡技術者協会の認定眼鏡士SSS級を所持する。清水社長は、「視力は改善できる。子どもたちが将来視力で困

ることがないように、しっかりとサポートしたい」と話した。



適切な眼鏡選択で幼少期の視力矯正ができるという

柏市民新聞

THE KASHIWA CITIZEN NEWS

第1793号 (毎月第2・4金曜発行・月額755円)

5月24日 金曜日
2019年(令和元年)

発行所・柏市民新聞社
柏市東上町2-21
郵便番号277-0011
TEL: 7163-1414(代)
FAX: 7164-9341